

平成25年度予算(案)主要事項

文 部 科 学 省
ス ポ ー ツ ・ 青 少 年 局

目 次

平成25年度予算(案)主要事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

スポーツ立国の実現を目指したスポーツの振興

(1)新たなスポーツ文化創造プロジェクトによる日本再生・・・・・・・・3
(2)スポーツ基本計画の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

子どもの安全を守る学校健康教育の推進

(1)学校すこやかプランの充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
(2)子ども安心プロジェクトの充実・・・・・・・・・・・・・・・・29
(3)食育推進プランの充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

青少年の健全育成の推進

(1)青少年の体験活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
(2)青少年を有害環境から守るための取り組みの推進・・・・・・・・37
(3)子どもの読書活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

平成25年度予算(案)主要事項

事 項	前 年 度 予 算 額 千円	平成25年度 予 定 額 千円	比 較 増 △ 減 額 千円	事 項
ス ポ ー ツ 立 国 の 実 現				
スポーツ立国の実現を目指したスポーツの振興	23,542,693	24,327,849	785,156	<p>1. 新たなスポーツ文化創造プロジェクトによる日本再生</p> <p>(1) 国立霞ヶ丘競技場の改築準備に係る経費【新規】 2,142,334 (0)</p> <p>(2) チーム日本競技力向上推進プロジェクト【新規】 2,766,836 (0)</p> <p>① マルチサポートによるトップアスリートの支援 2,299,522 (0)</p> <p>② 女性アスリートの育成・支援 467,314 (0)</p> <p>(3) スポーツ for all プロジェクト【新規】 428,981 (0)</p> <p>2. スポーツ基本計画の推進</p> <p>～国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備等～</p> <p>(1) 日本オリンピック委員会補助 2,588,214 (2,588,214)</p> <p>(2) メダルポテンシャルアスリート育成システム構築事業 467,191 (467,795)</p> <p>(3) トップアスリートの強化・研究活動拠点の機能強化に向けた調査研究【新規】 22,166 (0)</p> <p>(4) 国際競技大会情報ネットワーク形成支援事業【拡充】 62,684 (49,584)</p> <p>(5) 国連ジュニアスポーツリーダー研修事業【新規】 15,722 (0)</p> <p>(6) ドーピング防止活動の推進【拡充】 359,679 (325,261)</p> <p>～ライフステージに応じたスポーツ活動の推進～</p> <p>(1) 社会体育施設耐震化事業【新規】 1,006,400 (0)</p> <p>(2) 地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト 588,866 (581,598)</p> <p>(3) 健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業 72,932 (71,316)</p> <p>(4) 競技者・指導者等のスポーツキャリア形成支援事業 104,885 (102,334)</p> <p>～学校における体育・運動部活動の充実～</p> <p>(1) 体育活動における課題対策推進事業【新規】 15,817 (0)</p> <p>(2) 中学校武道場の整備促進 4,604,125 (4,604,125)</p> <p>① 公立中学校武道場の整備 4,534,000 (4,534,000)</p> <p>② 私立中学校等武道場の整備 70,125 (70,125)</p> <p>(3) 武道等指導推進事業【拡充】 302,082 (250,028)</p> <p>(4) 運動部活動地域連携再構築事業 271,930 (269,063)</p> <p>(5) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査【拡充】 302,276 (89,089)</p>
合 計	23,542,693	24,327,849	785,156	

※ 事項は主要なもののみを計上しているため、合計と一致しない。
 ※ 給与臨時特例法等の影響額(約△2億円)を除くと、対前年度10億円増。

事項	前年度 予算額 千円	平成25年度 予定額 千円	比較増 △減額 千円	事項
子どもの安全を守る学校健康教育の推進				
1. 学校すこやかプランの充実	213,243	210,599	△ 2,644	(1)心のケア対策推進事業【新規】 29,173 (0) (2)中学校における保健教育の指導参考資料の作成【新規】 14,827 (0) (参考:復興特別会計) (3)安全・安心のための子どもの健康対策支援事業 216,269 (0)
2. 子ども安心プロジェクトの充実	114,918	343,509	228,591	(1)学校安全推進事業【拡充】 203,807 (52,279) ①通学路安全推進事業【新規】 149,073 (0) (2)防災教育推進事業 139,702 (62,639) ①実践的防災教育総合支援事業【変更計上】 109,396 (0)
3. 食育推進プランの充実	229,171	230,261	1,090	○学校給食・食育総合推進事業【拡充】 230,261 (229,171) ①栄養教諭を中核とした食育総合推進事業【拡充】 87,578 (76,587) ②学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究【新規】 12,248 (0) ③学校給食における地場産物の活用促進事業 17,163 (20,288)
合計	557,332	784,369	227,037	

※ 事項は主要なもののみを計上しているため、合計と一致しない。

事項	前年度 予算額 千円	平成25年度 予定額 千円	比較増 △減額 千円	事項
青少年の健全育成の推進				
1. 青少年の体験活動の推進	259,248	241,357	△ 17,891	(1)防災キャンプ推進事業 26,443 (26,712) (2)青少年の体験活動の推進に関する調査研究【新規】 10,437 (0) (3)企業CSRシンポジウム～企業の社会貢献活動を通じた青少年の体験活動の推進～【新規】 4,092 (0) (4)青少年教育施設を活用した国際交流事業【拡充】 59,852 (57,883) (5)国際社会で活躍できる青少年を育む国際交流事業【拡充】 36,743 (26,002)
2. 青少年を有害環境から守るための取り組みの推進	59,873	64,706	4,833	(1)ネットモラルキャラバン隊【拡充】 15,546 (10,011) (2)地域における有害情報対策推進事業【拡充】 24,801 (14,886)
3. 子どもの読書活動の推進	39,150	39,150	0	(1)読書コミュニティ拠点形成支援 29,350 (29,515) (2)「子ども読書の日」の理解推進 9,800 (9,635)
合計	358,271	345,213	△ 13,058	

※ 事項は主要なもののみを計上しているため、合計と一致しない。

スポーツ立国の実現を目指したスポーツの振興

(前年度予算額 23,542,693千円)
25年度予定額 24,327,849千円

【事業要旨】

すべての人々がスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支え、そしてスポーツを育てる活動に参画する機会が確保される社会を実現し、広く人々がスポーツの楽しさや感動を分かち合い、スポーツの持つ意義や価値を共有するという、我が国の「新たなスポーツ文化」を確立することを目指す。

【新たなスポーツ文化創造プロジェクトによる日本再生】

【事業内容】

(1) 国立霞ヶ丘競技場の改築準備に係る経費【新規】 2,142,334千円

現在の国立霞ヶ丘陸上競技場は、建築後50年以上が経過し、競技場そのものの老朽化が進むとともに、今日開催される大規模な国際競技大会の主要会場としての仕様を満たさない状況となっている。

このため、2019年ラグビーワールドカップ日本開催、2020年オリンピック・パラリンピック東京招致等を視野に入れ、基本設計に使用可能な経費及び埋蔵文化財発掘調査費について、競技場を所管する(独)日本スポーツ振興センターに対する運営費交付金の内数に計上することにより、改築準備を推進する。

(2) チーム日本競技力向上推進プロジェクト【新規】 2,766,836千円

トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、女性アスリートの国際競技力を向上するためのプログラム等を実施する。

① マルチサポートによるトップアスリートの支援 2,299,522千円

メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発など、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、第22回オリンピック冬季競技大会(2014/ソチ)での競技や試合への最善の準備を行う環境を提供するため、選手村村外にスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための「マルチサポート・ハウス」を設置する。

② 女性アスリートの育成・支援 467,314千円

近年のスポーツにおける女性の活躍は著しいものがあるが、女性アスリートは男性アスリートに比べ、支援に恵まれないケースも少なくないため、男女間格差の改善に向けた事業を実施し、女性アスリートのさらなる競技力の向上を支援する。

(3) スポーツ for all プロジェクト【新規】

428,981千円

スポーツ基本法の理念に則り、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて日常的にスポーツに親しむことができるよう、地域が有するスポーツ資源の活用による子どもの体力向上やスポーツを通じた地域コミュニティの活性化に資する施策を実施する。

また、国民各層にスポーツ活動の必要性を浸透させることにより、日本にスポーツムーブメントを巻き起こし、東京都が招致を目指している2020オリンピック・パラリンピックに向けた社会的気運の醸成にも寄与する。

① 地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業

304,281千円

地域の様々な機関等が有する人的資源等を活用することにより、検証改善サイクルを踏まえた学校における子どもの体力向上の取組を推進する。

② スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業

124,700千円

地元の大学や企業などが有するスポーツ資源（人材・施設）を効果的に活用した取組と若者のスポーツ参加促進策を実施することにより、地域住民のスポーツへの参加意欲を高め、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を促進する。

チーム日本競技力向上推進プロジェクト

(新 規)
25年度予定額 2,766,836千円

マルチサポートによるトップアスリートの支援

2,299,522千円

トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発など多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、ソチオリンピック冬季競技大会での競技や試合への最善の準備を行う環境を提供するため、選手村村外にスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための「マルチサポート・ハウス」を設置する。

アスリート支援

スポーツ医・科学、情報を活用して、トップアスリートが試合に勝つために必要なサポートを実施

研究開発

日本の科学技術を活かして、競技用具や専用トレーニング器具、コンディショニング方法の研究開発等を実施



マルチサポート・ハウス

ソチオリンピック冬季競技大会において、競技の最終準備のために選手、コーチ、サポートスタッフが必要な機能を選択できるサポート拠点を設置

分析サポート

リカバリー・コンディショニング

コミュニケーション・リラックス

情報戦略

女性アスリートの育成・支援

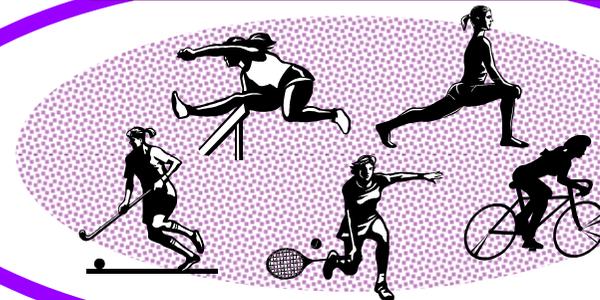
467,314千円

ロンドンオリンピック競技大会は、すべての競技で男女種目が実施された初めての大会であるとともに、日本代表選手団の派遣人数においても、男性アスリートよりも女性アスリートの割合が多く占めるなど、近年のスポーツにおける女性の活躍は著しいものがある。しかしながら、いまだ女性アスリートは男性アスリートに比べ、支援に恵まれないケースも少なくないため、男女間の機会均等を図り、女性アスリートのさらなる競技力向上を支援する。

女性スポーツに関する国内外の
情報収集が困難



女性スポーツの戦略的強化に向けた調査研究



女性競技種目戦略的強化プログラム

女性特有の課題に対応した支援プログラム



女性競技の強化支援は効果的



身体的・社会的なサポート体制が不足

マルチサポートによるトップアスリートの支援

(新 規)
25年度予定額 2,299,522千円

トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発など多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施する。

また、競技者パフォーマンスの最大化に焦点を当て、第22回オリンピック冬季競技大会(2014/ソチ)での競技や試合への最善の準備を行う環境を提供するため、選手村村外にスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための「マルチサポート・ハウス」を設置する。

アスリート支援

強化合宿や競技大会における動作分析、ゲーム分析、情報収集、栄養サポート、コンディショニングサポート、心理サポートなど、各分野の専門スタッフが、スポーツ医・科学、情報を活用して、トップアスリートが試合に勝つために必要なサポートを実施

研究開発

日本の科学技術を活かして、オリンピック選手専用(テーラーメイド型)の競技用具やウェア、シューズ、日本人の弱点を強化するための専用トレーニング器具、コンディショニング、リカバリー方法の研究開発等を実施



ターゲット競技種目(平成24年度)

夏季競技(17競技)	陸上競技、水泳(競泳、シンクロ)、サッカー、体操競技(体操、新体操、トランポリン)、レスリング、セーリング、柔道、射撃(ライフル射撃)、テニス、バレーボール、自転車、卓球、フェンシング、カヌー、アーチェリー、バドミントン、トライアスロン
冬季競技(2競技)	スキー(ジャンプ、ノルディック複合)、スケート(スピード、フィギュア)

マルチサポート・ハウス

第22回オリンピック冬季競技大会(2014/ソチ)(平成26年2月7日~23日開催予定)において、競技の最終準備のために選手、コーチ、サポートスタッフが必要な機能(分析サポート、リカバリー・コンディショニング、コミュニケーション・リラックス、情報戦略)を選択できるサポート拠点を設置

分析サポート

- 映像フィードバック
- 映像編集
- 簡易動作分析
- 結果集積・分析

リカバリー・コンディショニング

- 栄養補給
- メディカルスペース
- リカバリープール
- トレーニング、心理サポート

コミュニケーション・リラックス

- 選手・コーチ・スタッフのミーティング
- リラックス、リフレッシュスペース

情報戦略

- サポートハウスサービスのコーディネート
- 戦況分析・調査
- 日本選手団との連携・調整
- 現地と日本との連携・調整

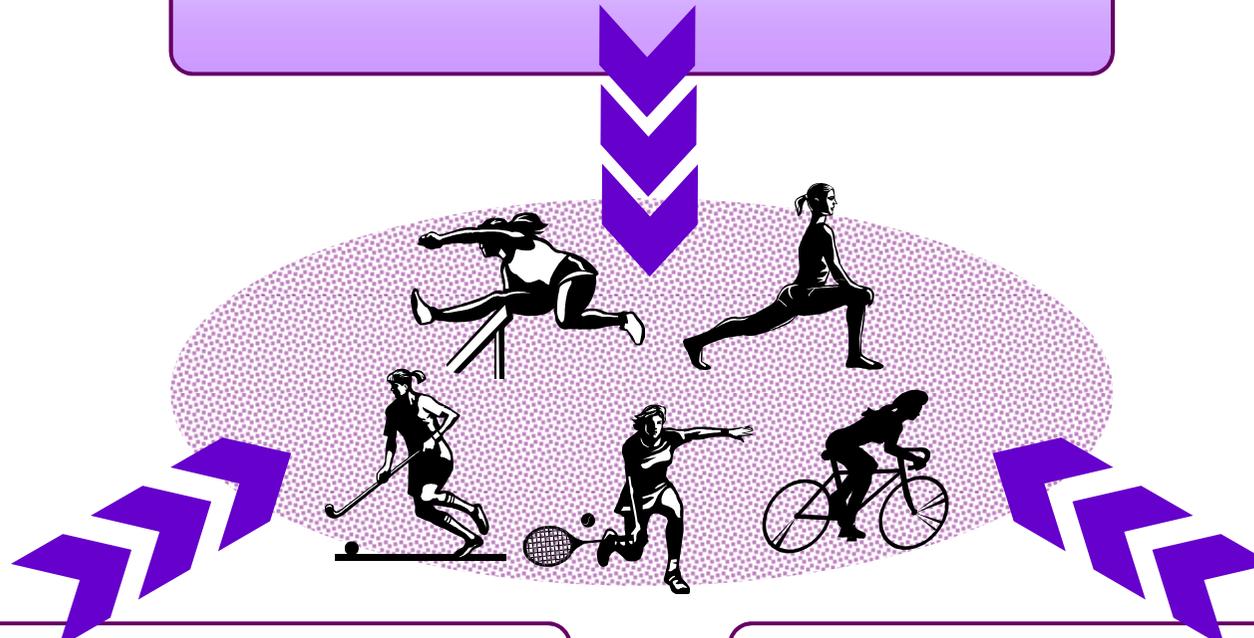
女性アスリートの育成・支援

(新 規)
25年度予定額 467,314千円

ロンドンオリンピック競技大会は、すべての競技で男女種目が実施された初めての大会であるとともに、日本代表選手団の派遣人数においても、男性アスリートよりも女性アスリートが多く占めるなど、近年のスポーツにおける女性の活躍は著しいものがある。しかしながら、いまだ女性アスリートは男性アスリートに比べ、支援に恵まれないケースも少なくない。このため、男女間の機会均等を図り、女性アスリートのさらなる競技力向上を支援する。

女性スポーツの戦略的強化に向けた調査研究 248,346千円

女性アスリートの戦略的強化を図るため、国内外の女性スポーツに関する情報の収集やデータベース化等を行うとともに、女性スポーツの身体的・多角的な調査研究等を行う



女性競技種目戦略的強化プログラム 172,269千円

基礎的運動能力が高いシニアアスリートの実践的な育成・強化プログラムを策定し、戦略的プログラムを通じて女性競技種目の競技力向上を図る

女性特有の課題に対応した支援プログラム 46,699千円

女性特有の課題に対応するため、①女性の発育・発達期における医・科学サポート、②妊娠期、産前、産後、子育て期のトレーニングサポート、③女性特有の疾患、障害、疾病等における医学的なサポートなど、女性アスリートの総合的な支援を行う

スポーツ for allプロジェクト

25年度予定額 428,981千円(新規)

スポーツ基本法の理念に則り、スポーツを通じてすべての人々が
幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出するための施策を実施

地域を活用した学校丸ごと 子どもの体力向上推進事業

① 地域の様々な機関を活用

教育委員会を中心として地域の様々な機関で構成するコンソーシアムを設置。各機関が有する人的資源等を効果的に活用し、学校における体力向上の取組を実施。

② グッドプラクティスの普及

各地域における取組を事例集としてとりまとめるとともに、全国連絡協議会を開催し、全国に普及。

スポーツを通じた 地域コミュニティ活性化促進事業

① 大学・企業のスポーツ資源の活用

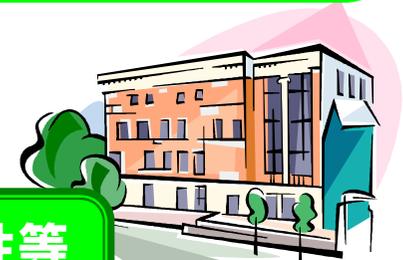
大学・企業のスポーツ施設等において、教員や学生等による地域住民を対象とした定期的なスポーツ教室、スポーツセミナーなどの指導やスポーツ交流大会等を実施。

② 若者のスポーツ参加促進策の全国展開

20代・30代の多様なライフスタイルに沿って、スポーツを通じた街づくりや賑わいの創出等に有益な支援策を実施。



全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等
に応じて日常的にスポーツに親しめる環境の整備

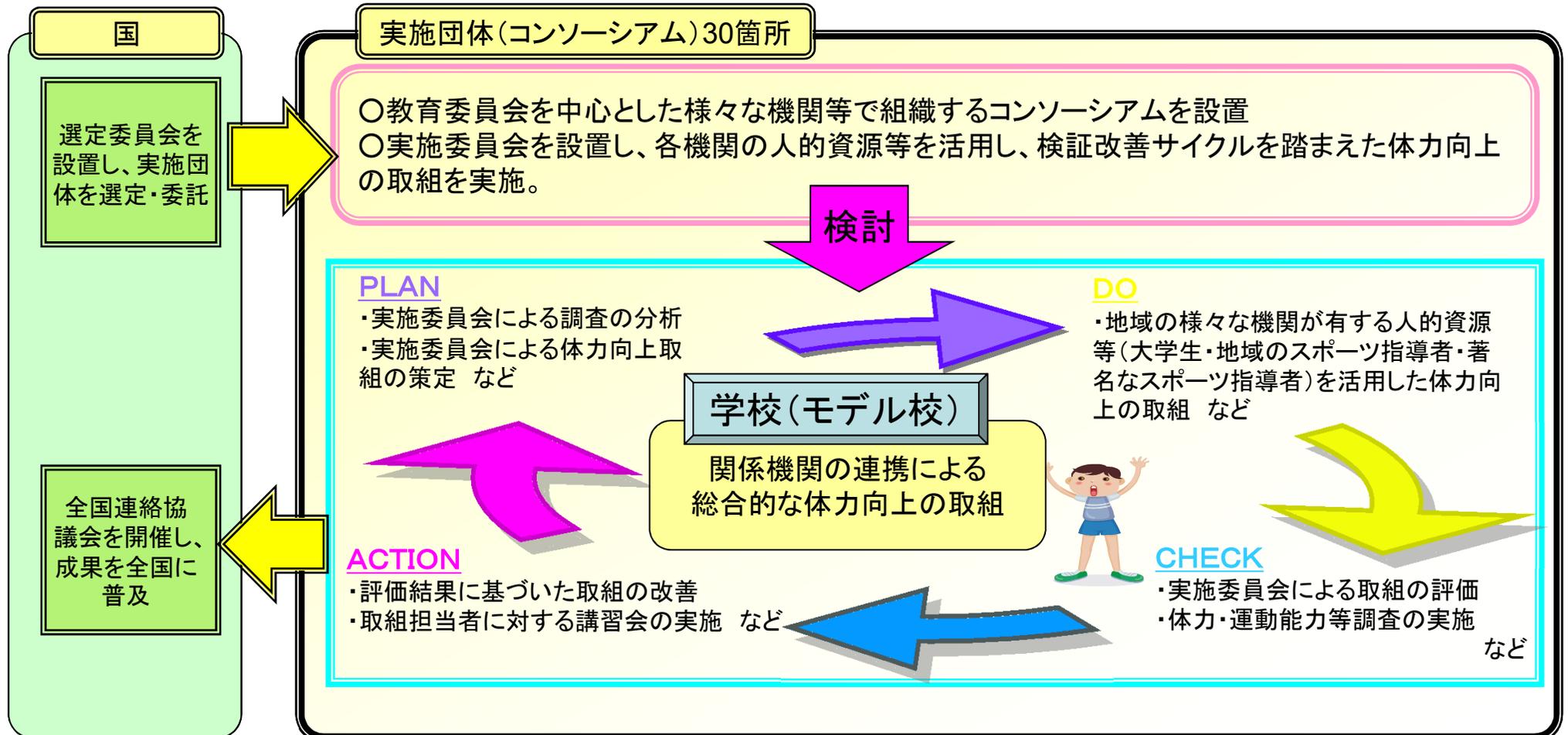


地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業

平成25年度予定額:304,281千円(新規)

子どもの体力の現状と課題

- 子どもの体力は、概ね低下傾向に歯止めがかかっているものの依然として、昭和60年代に比較すると、低い状況
- 近年は、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が顕著
- 子どもに対する支援の充実等を学校だけでなく、家庭や地域が一体となって行い、体力を向上をさせることが大きな課題



スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業

(新規)

25年度予定額 124,700千円

趣旨: ①地元の大学や企業などが有する**スポーツ資源(人材・施設)**を効果的に活用した取組
 ②スポーツ実施率の低い**若者を対象としたスポーツ参加促進策の全国展開**
 を実施することにより、**地域住民のスポーツへの参加意欲を高め、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を促進する。**

